

|                         |  |         |   |
|-------------------------|--|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数)            | 社会福祉 I (2 単位)  | 3. 科目番号 | SNMP1104                                      |
| 2. 授業担当教員               | 荻野 基行  |         |   |
| 4. 授業形態                 | 講義・ディスカッション  | 5. 開講学期 | 春期  |
| 6. 履修条件・他科目との関係         |  |         |   |
| 7. 講義概要                 | 生活支援場面における人間の理解を深めるために、広く人間をとらえ、福祉の目を養うことを目的とする。人間の尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性、介護における利用者の理解の必要性、利用者と援助者との人間関係などの基礎的なあり方について展開する。  |         |   |
| 8. 学習目標                 | 下記を理解し、説明できるようになることが期待される。<br>1. 介護福祉における人間の尊厳と自立の意味<br>2. 人間の尊厳と介護の関係<br>3. 人権思想と介護の方向性<br>4. 生活支援における価値<br>5. 人間の尊厳と権利擁護   |         |   |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | レポート課題1. 「人間の尊厳と人権・福祉理念」についてのべなさい。<br>レポート課題2. 「自立のあり方」についてのべなさい。<br>※それぞれ詳細や提出しめきり等は講義内で提示する。<br>※レポートは1ページ40行×30文字で3枚以上とする。  |         |   |
| 10. 教科書・参考書・教材          | 【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会『最新介護福祉士養成講座1 人間の理解』中央法規出版、2019年。<br>【教材】講義の補足として適宜参考資料・プリントを配布する。  |         |   |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法       | ○成績評価の規準<br>1. 介護福祉における人間の尊厳と自立の意味について理解ができたか。<br>2. 人間の尊厳と介護の関係について理解ができたか。<br>3. 人権思想と介護の方向性について理解ができたか。<br>4. 生活支援における価値について理解ができたか。<br>5. 人間の尊厳と権利擁護について理解ができたか。<br>○評定の方法<br>1. 講義への参加度 30%<br>2. レポート (2 回) 30%<br>3. 期末試験 40%<br>出席について：最低出席回数の基準は、東京福祉大学学則第 36 条に則り、最低出席回数を満たしていない学生の評価は行いません。また講義開始後 15 分以降の遅刻は欠席とみなします。遅刻 2 回で 1 回の欠席とします。講義内での居眠りや私語、他の講義準備等、指示があった場合を除いて携帯電話の操作等の行為を発見した場合は、その講義を欠席扱いとします。   |         |   |
| 12. 受講生へのメッセージ          | 本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としています。目的達成のため、受講生は以下の条件を守って下さい。<br>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講しましょう。受講生には積極的な態度を望みます。<br>2. 自ら進んで教員に質問しましょう。理解できないことをそのまま放っておかないようにしましょう。<br>3. 授業は欠席、遅刻、早退をしないで下さい。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告して下さい。<br>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であっても F 評価になるので注意して下さい。<br>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話などの操作は緊急時以外、絶対にしないで下さい。<br>また教員は、以下のことを実行します。<br>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行います。<br>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明します。<br>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を作ります。遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。 |         |   |
| 13. オフィスアワー             | 別途通知します。   |         |   |
| 14. 授業展開及び授業内容          |  |         |   |
| 講義日程                    | 授業内容   | 学習課題    |   |
| 第 1 回                   | オリエンテーション<br>人間の尊厳と利用者主体   | 事前学習    | テキストの「はじめに」及び目次を概観し社会福祉 I で学ぶ内容を自分なりに把握する     |
|                         |  | 事後学習    | 講義で学んだ「人間の尊厳と利用者主体」についてまとめる                   |
| 第 2 回                   | 人権思想の潮流とその具現化  | 事前学習    | テキスト pp.6-10 を熟読し「人権思想の潮流とその具現化」を整理する         |
|                         |  | 事後学習    | 講義で学んだ「人権思想の潮流とその具現化」についてまとめる                 |
| 第 3 回                   | 人権や尊厳に関する日本の諸規定・生活支援における価値   | 事前学習    | テキスト pp.10-16 を熟読し「人権や尊厳に関する日本の諸規定・生活支援における価値 |

|                     |   |      |   |
|---------------------|---|------|---|
|                     |   |      | 値」について整理する  |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「人権や尊厳に関する日本の諸規定・生活支援における価値」をまとめる                                     |
| 第4回                 | エリザベス救貧法・新救貧法・慈善組織協会                            | 事前学習 | テキスト pp.16-19 を熟読し「エリザベス救貧法・新救貧法・慈善組織協会」を整理する                               |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「エリザベス救貧法・新救貧法・慈善組織協会」についてまとめる  |
| 第5回                 | リッチモンドの問題提起と戦争が社会福祉に及ぼした影響                      | 事前学習 | テキスト pp.19-23 を熟読し「リッチモンドの問題提起と戦争が社会福祉に及ぼした影響」について整理する                      |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「リッチモンドの問題提起と戦争が社会福祉に及ぼした影響」をまとめる                                     |
| 第6回                 | 生存権保障と貧困問題・人権問題                                 | 事前学習 | テキスト pp.23-28 を熟読し「生存権保障と貧困問題・人権問題」について整理する                                 |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「生存権保障と貧困問題・人権問題」についてまとめる   |
| 第7回                 | ノーマライゼーション・ソーシャルインクルージョン・QOL・生命倫理               | 事前学習 | テキスト pp.29-36 を熟読し「ノーマライゼーション・ソーシャルインクルージョン・QOL・生命倫理」について整理する               |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「ノーマライゼーション・ソーシャルインクルージョン・QOL・生命倫理」についてまとめる                           |
| 第8回                 | 利用者の人権と生活                                       | 事前学習 | テキスト pp.36-40 を熟読し「利用者の人権と生活」について整理する                                       |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「利用者の人権と生活」についてまとめる   |
| 第9回                 | 利用者の権利侵害がおこる状況                                  | 事前学習 | テキスト pp.40-44 を熟読し「利用者の権利侵害がおこる状況」について整理する                                  |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「利用者の権利侵害がおこる状況」についてまとめる  |
| 第10回                | 権利侵害の背景・権利擁護の視点                                 | 事前学習 | テキスト pp.44-48 を熟読し「権利侵害の背景・権利擁護の視点」について整理する                                 |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「権利侵害の背景・権利擁護の視点」についてまとめる【課題レポート1】                                    |
| 第11回                | 自立の概念の多様性                                       | 事前学習 | テキスト pp.51-56 を熟読し「自立の概念の多様性」について整理する                                       |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「自立の概念の多様性」についてまとめる   |
| 第12回                | 自立とは  | 事前学習 | テキスト pp.57-60 を熟読し「自立とは」について整理する  |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「自立とは」についてまとめる  |
| 第13回                | 介護を必要とする人の自立・自立のために必要なこと・自立支援がめざすもの・自立への意欲と動機づけ | 事前学習 | テキスト pp.60-66 を熟読し「介護を必要とする人の自立・自立のために必要なこと・自立支援がめざすもの・自立への意欲と動機づけ」について整理する |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「介護を必要とする人の自立・自立のために必要なこと・自立支援がめざすもの・自立への意欲と動機づけ」をまとめる                |
| 第14回                | 自立支援の考え方・自立と依存と選択・自立支援とICF                      | 事前学習 | テキスト pp.66-72 を熟読し「自立支援の考え方・自立と依存と選択・自立支援とICF」について整理する                      |
|                     |   | 事後学習 | 講義で学んだ「自立支援の考え方・自立と依存と選択・自立支援とICF」をまとめる                                     |
| 第15回                | 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係<br>まとめ               | 事前学習 | テキスト pp.72-76 を熟読し「介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係」について整理する                      |
|                     |   | 事後学習 | 期末試験にむけ、資料の整理や学習内容の確認を行う。【課題レポート2】  |
| 期末試験 ※詳細については講義内で示す |   |      |   |